

(1)社会科における昨年度の改善プランの検証

観点	検証
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>対話的な学習機会を計画的に設定し、主体的に考え、表現する機会を増やしていくことができた。話し合いや学び合いの活動を通して、深く学習する姿勢を広げられたと考える。</li> <li>電子黒板やタブレットPCなどのICT機器を適切に活用して資料を提示したが、関心や意欲が知識の定着に結び着かなかった場面もある。</li> <li>フォローアップシートや自作の復習課題を活用し、繰り返し振り返り学習をする機会を設けることができた。</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>視聴覚教材や実物教材等の活用を行った。興味関心を高めることができたように思うが、生徒の主体性や学習内容の深化という点では課題が残った。教材開発の工夫が必要であると考え。</li> <li>身近な地域の歴史も扱うことによって、関心・意欲を高める学習を行う。(副教材『のびゆく大田区』の活用をすすめるなど)</li> <li>学習効果測定で理解に不足がみられる内容〔(2)参照〕について、振り返り学習をする機会を設ける。</li> </ul>
資料活用の技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>実生活に根ざした話題や資料を活用することで、より深く学習する姿勢をもたせる。(「租税教室」「ルールプレイを活用した経済循環」「貿易シミュレーション」「選挙シミュレーション」など)</li> <li>「効率と公正」に基づく判断力を育成する指導の中などで、異なる考え方の資料を適切に提示し、他者と考えを深める機会を多く設けることができた。</li> <li>地理・歴史の既習事項の復習及び深化を図る学習活動を、できるだけ多く計画的に設定し、単元のまとめにおける資料の活用を行った。</li> </ul>
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元終了ごとの基礎知識テストなどを用いての反復学習を通じて、生徒の知識の活用を促すことができた。</li> <li>授業の中で、内容と関連のある他の分野での学習内容や既習事項についてふれ、知識の定着状況を確認した。</li> <li>獲得した知識を活用しながら、学習課題に取り組めるようなアクティビティーの設定を心がけた。</li> </ul>

(2)社会科の今回の学習効果測定等における分析(内容別・観点別)

内容項目	分析
地理的分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年生は、地理的分野内容の理解に課題があるが、問題の正答率には個々に大きな差がある。出身小学校によって大きな開きがある。</li> <li>2年生は概ね目標値を上回る結果であった。特に世界の諸地域の分野では成果を上げている。</li> <li>3年生は全体的には目標値をわずかに下回っている。日本の諸地域に関する問題の正答率に課題があった。基礎的な知識・用語を求められる問題では成果を上げた。</li> </ul>
歴史的分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年生は目標値を下回っている。歴史分野全般に課題が見られた。</li> <li>2年生は全体として目標値を上回ったが、古代の日本における学習内容に課題が見られた。</li> <li>3年生は大きく目標値を下回ってしまった。江戸時代(近世の日本)と明治時代(近代の日本と世界の単元において目標値を大幅に下回った。また一部未習事項の内容もあったため、正答率が低かった。</li> </ul>

観点	分析
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年生は目標値を下回った。地理的分野の正答率に課題がある。</li> <li>2年生は目標値を11ポイント上回った。</li> <li>3年生は目標値をわずかに下回った。</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年生は目標値をわずかに下回った。</li> <li>2年生は目標値を13ポイント上回った。</li> <li>3年生は目標値をわずかに下回った。</li> </ul>
資料活用の技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年生は目標値をわずかに下回った。</li> <li>2年生は目標値を4ポイント上回った。</li> <li>3年生は目標値を3ポイント上回った。</li> </ul>
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年生は目標値を下回った。日本の地理的事象の理解に課題がある。</li> <li>2年生は目標値を4ポイント上回った。</li> <li>3年生は目標値をわずかに上回った。</li> </ul>

(3)社会科の学習効果測定等における課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎的・基本的な学習事項の着実な定着。学習してから時間が経っている内容のさらなる確認が必要。</li> <li>活用力がついてきた反面、基礎的・基本的な知識の定着にむらが見られる。</li> <li>3学年においては、進度の遅れによる未習事項の補填が必要である。</li> </ul>
---

#### (4)社会科の具体的授業改善策

観点	具体的な授業改善策
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>導入における学習課題の設定、視覚教材の活用を行い、社会的事象に対する興味・関心を高める。</li> <li>生徒の既成概念を取り払えるような発問を行い、既知が未知に変わるような導入を行う。また発展的な学習においても、学習内容を深化させることができるような課題の設定を行う。</li> <li>学習への取り組み方の指示の工夫や、評価について丁寧に説明することなどで、意欲を高める。</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペアワーク、3～4人組のグループワークにおけるバズ学習、生活班をベースにした役割分担のある中でのグループワークなど、学習活動に有効である学習スタイルを実行していく。</li> <li>異なる考えや意見をふまえて思考しようとする深い学びにつながる姿勢をもたせる。話し合い活動等の指導にあたっては、個に応じた支援を行う。振り返りシートの活用を通して、一人一人に単元ごとの自己評価行えるようにする。</li> <li>思考力や表現力を高めるための取り組みを行う時間を確保するため、基礎的・基本的な内容を効率よく定着させる指導の工夫を行う。</li> </ul>
資料活用の技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>グラフ、図表の読み取りを重点的に行う時期を学年で設けて、社会科、数学科、理科の3教科において、「資料読み取り週間」と位置づける。今年度は、第3学年において、都立入試直前の2週間を設定する。</li> <li>電子黒板やタブレットPCなどのICT機器を適切に活用して社会的事象を多角的・多面的に理解させるように心がける。</li> <li>グラフ、地図や統計資料などを読み取るスキルだけにとどまらず、自らが作成する学習活動を通して、資料活用の意義について触れることのできるような授業設定を行う。</li> </ul>
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>小単元終了ごとに行う基礎・基本的な知識の理解を図る小テストを実施する。反復学習を心掛け、生徒一人一人の着実な知識・理解の定着を図る。</li> <li>カリキュラムマネジメントを意識させ、地理・歴史・公民の分野を超えて、単元構成を行い、得た知識を活用する機会を設定する。</li> <li>学習課題の設定において、知識を元に活用させることで、達成できる課題を設定する。</li> </ul>

内容項目	具体的な授業改善策
地理的分野 (1,2学年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>対話的な学習機会を単元ごとなどに計画的に設定し、時事問題などの身近な話題について主体的に考え、表現する機会を増やしていく。話し合いや学び合いの活動を通して、深く学習する姿勢を広げていく。</li> <li>電子黒板やタブレットPCなどのICT機器を適切に活用して資料を提示するなどして、学習内容のより確かな定着をはかる。</li> <li>学習効果測定で理解に不足がみられる内容〔(2)参照〕について、授業ごとの振り返りや小テストなど繰り返し振り返り学習をする機会を設ける。</li> </ul>
歴史的分野 (1,2,3学年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>知識の習得、活用の場面を各授業の中で作り、歴史的意義について考える場を設定することで、歴史の大きな流れを理解させる。</li> <li>学習した知識を単元ごとにまとめる活動を取り入れる。年表の作成やまとめノート作りなど、知識の定着を図る。</li> <li>学習効果測定で理解に不足がみられる古代の日本の学習について、振り返り学習をする機会を設けるとともに歴史の流れを再確認できるような学習をできるようにする。</li> </ul>
公民的分野 (3学年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元ごとの学習指導計画を立てる際、基礎的な知識を身につける時間と共に、それを活用するための時間、振り返りを行うための時間を設定しながら学習活動の計画を立てる。</li> <li>生徒の学習活動において、多面的な思考を促すための工夫として、単独での思考と、複数での意見交換の場面を的確に設定できるよう、実践を行う。</li> <li>生徒の学習意欲向上のための即時評価と個に応じた指導を行う。単元を通して、どのような知識が身についたかを記述できるようにする。</li> </ul>

学年	具体的な授業改善策
1学年	* 上記の分野別改善策を参照ください。(地理的分野・歴史的分野)
2学年	* 上記の分野別改善策を参照ください。(地理的分野・歴史的分野)
3学年	* 上記の分野別改善策を参照ください。(公民的分野)